

第47回愛知県野生生物保護実績発表大会

～輝く未来のいきものサポーター～ を開催しました

本県では、学校や団体が行う野生生物の保護活動実績等に係る取組発表を通して、県民の方々に野生生物に対する保護思想の普及・啓発と環境保全意識の高揚を図ることを目的に、昭和47年から本大会を開催しています。平成29年度は、以下のとおり開催しました。

1 開催概要

(1) 日 時

平成29年8月3日(木) 午前10時から午後4時まで

(2) 場 所

刈谷市産業振興センター 7階 小ホール (刈谷市相生町1-1-6)

(3) 発表団体

13団体(小学校5校、中学校3校、高等学校5校)

(4) 参加者数

延べ218名

(5) 発表プログラム

別紙のとおり。

(6) その他

県大会で優秀な成績を収めた団体の中から3団体を全国野生生物保護実績発表大会(以下、「全国大会」という)に推薦しました。

開催に当たって、平成28年度との主な変更点は、参考資料のとおりです。

2 入賞団体一覧

受賞名	受賞団体名
愛知県知事賞 (3校)	岡崎市立生平小学校、豊田市立滝脇小学校※ 愛知県立佐屋高等学校※
愛知県教育委員会賞 (2校)	岡崎市立河合中学校、愛知県立碧南高等学校 科学部※
愛知県自然観察指導員 連絡協議会賞 (5校)	春日井市立東高森台小学校、岡崎市立形埜小学校 岡崎市立新香山中学校、愛知県立木曾川高等学校 桜丘高等学校生物部
公益社団法人 愛知県獣医師会賞 (3校)	瀬戸市立古瀬戸小学校、一宮市立尾西第一中学校 愛知県立豊田西高等学校

※：平成29年度 第52回 全国大会への推薦校

【平成 28 年度との主な変更点】

- ・全国大会の参加募集要領に合わせて、募集対象を高等学校まで拡充しました。
- ・参加団体の方々に親しみが持てる大会になるよう、大会名にサブタイトル「輝く未来のいきものサポーター」を設けました。
- ・開催要領等に、「生物多様性保全」・「生物多様性の主流化」を明記しました。
- ・公益社団法人愛知県獣医師会賞を新設しました。

—発表プログラム—

発表順位	発表団体名	発表テーマ
10:00 開会式		
10:10 発表開始		
1 (10分)	岡崎市立 ^{おいだいら} 生平小学校	守ろう!野鳥の住む町 生平 ～野生生物保護活動を通して～
2 (10分)	豊田市立 ^{たきわき} 滝脇小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう!滝脇の自然 守ろう!私たちの森 広げよう!地域へ
3 (10分)	瀬戸市立 ^{こせと} 古瀬戸小学校	メダカのすめる川をとりもどそう
4 (10分)	春日井市立 ^{ひがしたかもりだい} 東高森台小学校	ギフチョウの保護・観察と身近な自然
5 (10分)	岡崎市立 ^{かたの} 形埜小学校	ふるさと形埜を愛する心を育てるササユリの保護活動 ～学区の宝「ササユリ」を保護する育成会と保育園との連携活動～
11:00 審査員からの質問 (約20分間)		
11:20 休憩 (約10分間)		
11:30 再開		
6 (10分)	岡崎市立 ^{しんかやま} 新香山中学校	大切なササユリを守る ～ササユリ訪問を継続するために～
7 (10分)	岡崎市立 ^{かわい} 河合中学校	河合の自然を守る ～部活動、全校生徒、地域保存会の連携を通して～
8 (10分)	一宮市立 ^{びさいだいいち} 尾西第一中学校	知ろう、木曾川!! 育てよう、イタセンパラ!! ～イタセンパラの飼育展示を通して～
12:00 審査員からの質問 (約10分間)		
12:10 午前の部終了		
(昼休み)		
13:10 午後の部開始		
9 (10分)	愛知県立 ^{きそがわ} 木曾川高等学校	守ろう!地域の宝 木曾川のイタセンパラ
10 (10分)	愛知県立 ^{さや} 佐屋高等学校	アヒル農法でヘイケボタル舞う水田環境を実現
11 (10分)	愛知県立 ^{とよたにし} 豊田西高等学校	ニホンイシガメが安心して歩ける環境づくり ～ミシシippアカミミガメの駆除活動を通して～
12 (10分)	愛知県立 ^{へきなん} 碧南高等学校 科学部	地域と連携したオオキンケイギクの除去活動
13 (10分)	^{さくらがおか} 桜丘高等学校 生物部	表浜海岸外来植物調査
14:00 審査員からの質問 (約20分間)		
14:20 発表終了		
14:20～14:30 休憩・講演・参加型アトラクションの会場設営 (約10分間)		
14:30～15:20 講義 (外部講師) (約50分間)		
15:20～15:30 審査結果の発表 (約10分間)		
15:30～16:00 表彰式及び講評 (約30分間) ・記念撮影		
16:00 閉会		

※発表時間は各団体 10 分です。

3 開催状況

【小学校の部】	
<p>1. 岡崎市立生平小学校※ 「守ろう!野鳥の住む町 生平 ～野生生物保護活動を通して～」</p> <p>各学年のマスコットバードを学ぶふるさと学習やツバメの営巣調査(自然環境変化を捉える調査)などの「知る活動」、冬季の給餌や森の健康診断などの「守る活動」、愛鳥新聞や親子探鳥会などの「広げる活動」について発表。</p>	
<p>2. 豊田市立滝脇小学校※ 「私たちの愛鳥活動 知ろう!滝脇の自然 守ろう!私たちの森 広げよう!地域へ」</p> <p>探鳥会や愛鳥検定、さえざり・地鳴き検定などの「知る活動」、冬季の給餌や営巣調査、野鳥の森の整備・巣箱づくりなどの「守る活動」、自然いきいき発表会や滝っ子まつり、愛鳥リーフレットの配布などの「広げる活動」について発表。</p>	
<p>3. 瀬戸市立古瀬戸小学校 「メダカのすめる川をとりもどそう」</p> <p>学校にメダカ池を造ったことを機に、地域にメダカのすめる川を取り戻すため、水質調査や水質パトロール、生きもの調査やメダカの放流、ヨシ植えやセラミックボールなどを利用した水質浄化などを実施。その取組について発表。</p>	
<p>4. 春日井市立東高森台小学校※ 「学校付近の自然とその移り変わり」</p> <p>身近な自然を知るため、築水池周辺で行ったギブチョウ保護のためのカンアオイ保全活動や卵数調査、飼育観察、廻間ビオトープでの四季を通じた生き物調査と湿地観察会、学校プールでのヤゴ救出作戦の取組を発表。</p>	
<p>5. 岡崎市立形埜小学校 「ふるさと形埜を愛する心を育てるササユリの保護活動 ～学区の宝「ササユリ」を保護する育成会と保育園との連携活動～」</p> <p>ササユリの特性を知り、学区内 14 か所での開花調査や他地域への見学会などの「知る活動」、保護のための看板や獣害防止網の設置、栽培などの「守る活動」、ささゆり通信やホームページでの情報発信など「広げる活動」について発表。</p>	

※：野生生物保護モデル校

【中学校の部】

6. 岡崎市立新香山中学校

「大切なササユリを守る
～ササユリ訪問を継続するために～」

昭和 41 年に市民病院の患者さんにササユリを届けた「ササユリ訪問」を継続するため、校区内保護区での保全活動や施設での栽培などの「守る活動」、福祉施設・市役所などへの「ササユリ訪問」などの「広める活動」について発表。



7. 岡崎市立河合中学校※

「河合の自然を守る
～部活動、全校生徒、地域保存会の連携を通して～」

ゲンジボタルの保護活動として、自然科学部が行うビオトープ整備、全校生徒が行うマイホテル活動、生徒会が行う親子ホテル観賞会、地域保存会と行う河川美化活動などについて、それぞれの取組を発表。



8. 一宮市立尾西第一中学校

「知ろう、木曾川!! 育てよう、イタセンパラ!!
～イタセンパラの飼育展示を通して～」

イタセンパラの生息環境「木曾川」を知るために、ワンドの見学会や資料館でのイタセンパラの観察会を開催。また、イタセンパラを始めとした木曾川の魚(オイカワ・カワムツなど)の飼育・展示・普及啓発の取組について発表。



【高等学校の部】

9. 愛知県立木曾川高等学校

「守ろう! 地域の宝 木曾川のイタセンパラ!!」

イタセンパラの知名度を高め、保護活動を推進するための校内飼育・展示、アンケート調査や缶バッチの製作・配布、「イタセンパラかるた」の制作などの普及啓発活動、ワンドの保全活動、木曾川パトロールの活動状況について発表。



10. 愛知県立佐屋高等学校

「アヒル農法でヘイケボタル舞う水田環境を実現」

生物多様性豊かな水田生態系の保全・再生を目指し、無農薬・無化学肥料によるアヒル農法を実践。除草効果やヘイケボタルの自然繁殖・観察会、アヒル農法米おにぎりや米糠ハンドクリーム開発などの普及啓発活動について発表。



※：野生生物保護モデル校

【高等学校の部】

11. 愛知県立豊田西高等学校

「ニホンイシガメが安心して歩ける環境づくり
～ミシシippアカミミガメの駆除活動を通して～」

矢作川本・支流調査区と周辺ため池及び上流水域でカメ類の分布調査を実施し、ミシシippアカミミガメを駆除。また、解剖によりアカミミガメの食性と卵巣の発達状態を把握。これらの調査により得られた結果について発表。



12. 愛知県立碧南高等学校 科学部

「地域と連携したオオキンケイギクの除去活動」

特定外来生物「オオキンケイギク」の市内分布調査や、生態系被害について、リーフレットを作成し、栽培の禁止や駆除の必要性を訴え、また市やNPOと連携して戸別訪問や矢作川河川敷で行った一斉除去活動などの取組を発表。



13. 桜丘高等学校 生物部

「表浜海岸外来植物調査」

表浜でアカウミガメの上陸・孵化調査や堆砂垣づくり、海岸清掃活動を実施して10年。生息環境の保全を考え、海浜の植生調査を行った結果、多くの外来種が生育していることを確認したため、その結果を取りまとめて発表。



【その他：参加型アトラクション・活動紹介展示】

公益社団法人 愛知県獣医師会 吉村さん

「獣医師の仕事」

1. 産業動物・小動物診療
2. 家畜・公衆衛生、動物愛護
3. 教育・研究
4. 学校飼育動物支援
5. 動物介在活動
6. 野生動物対策・動物園動物診察
7. バイオメディカル
8. 海外技術協力



もりの学舎インタープリター 木下さん、浅野さん

「地球のいのち、つないでいこう」

1. もりの学舎紹介
2. 生きものクイズ
3. 絶滅危惧種の話
4. 外来種の話
5. 活動の輪をひろげる
協力することの
重要性



パネル展示：木曽川高等学校、碧南高等学校、佐屋高等学校

資料等配布：滝脇小学校、古瀬戸小学校、木曽川高等学校

碧南高等学校、桜丘高等学校、もりの学舎

愛知県獣医師会(敬称略)



4 各賞の受賞状況

—愛知県知事賞—



—愛知県教育委員会賞—



—愛知県自然観察指導員連絡協議会賞—



—愛知県獣医師会賞—



6 おわりに

—全体集合写真—



本県では、平成 30 年度も、本大会の開催を予定しています。野生生物の保護活動・生物多様性保全活動などを行う学校・団体の皆様の御参加をお待ちしています。